

平成29年度 算数・数学教育研究部会（読書会）報告

第3回

平成29年7月11日（火） 午後7時00分～ 総合学習センター
『教育論文の書き方について』 提案者：算数・数学科指導員 畔柳 英徳 先生
永井 利昌 先生

1 なぜ、論文を書くのか

- ・すべては子供のため。
- ・論文を書くことで①授業力が向上する。②自分の成長を振り返ることができる。
- ・論文を書くことを目標にすることで、①常に研究心をもって授業を作るようになる。②子供を見る目が高まる。③魅力ある教材で授業をするようになる。④子供たちが落ち着いて授業をするようになる。

2 論文は、どうやって書けばいいのか

- ・優秀な論文を読むと、共通点が見えてくる。いいところを自分のものに取り入れる。

3 どうやって論文を読めば、書けるようになるか。

- ・次の点を意識しながら読む。①主張したいことと一貫性②論文の形式とその書き方の工夫③「目指す子供像」「仮説」「手だて」「計画」「抽出児」の書き方④実践部分の資料⑤検証の仕方を意識して読む。

4 論文を実際に読む

梅園小 井畑 絵美梨 先生 「算数的活動を通して、主体的に学び、筋道を立てて考える授

業

～4年「面積」の実践を通して～」の論文より

〈参加者の感想より〉

- ・とても読みやすい。P2で、何のための手だてかが、一目でわかる。
- ・資料の使い方が、とてもよい。TC表の中に線が引いてあることで、分かりやすい。
- ・抽出児の変容が分かりやすい
- ・仮説が明確になっている。ぶれない。

〈畔柳指導員より〉

- ・ unnecessaryな言葉が一切ない。
- ・目指す子供の姿→1行で書かれていて明確。長く書かない方がよい。
- ・仮説「～すれば、～できるであろう」⇒手だて=仮説にならないように。
手だて→授業レベル 仮説→全体の方向性を示す
- ・手だても、1行で書かれており、仮説としっかり関連している。
- ・指導計画に手だてが入れてあって、単元を通して実践を行っていることが分かる。
- ・抽出児の選び方→その学級を代表するような児童・この子を伸ばしたいと先生が思う子
算数が苦手な子を選びがちだが、変容が見取りやすい子を選ぶとよい。
- ・授業記録の使い方→資料9のようなデータやCT表が分かりやすい。授業を録音しておく
とよい。
- ・実践にのっとった検証・価値付けが行われている。
- ・P12の成果と課題は、もう少し短くてもよい。子供の姿をきちんととらえ、成果があっ

たかなかったかを実証しているところがとてもよい。

- ・ P 1 3 の次のページに参考文献をたくさん書いてほしい。(教科書、学習指導要領等でもかまわない。) たくさん本を読んで研究してほしい。

5 研究論文の具体的な書き方

〈永井指導員より〉

- ・ 授業をしてからでは、書くことがまとまらない。早めに計画を立て、実践を行うことが大切である。
- ・ 研究論文と実践記録の区別をつける。

研究論文には、仮説と検証が必要。失敗したことも、論文としてOK。

〈井畑先生の論文より〉

- ①目次… I ~ V が序論にあたる。ここで筋を通す必要がある。
- ②研究主題… 3 要素(ア 研究の目標、ねらい イ 研究の対象、領域 ウ 研究の手だて、方法)がすべて入っていることが大切。
- ③主題設定の理由… 教師の願いをストレートに書かれている。
- ④研究の仮説… 「〇〇において△△を□□すれば、☆☆になるであろう」の形が基本。
- ⑤手だて… 仮説をとらえたより具体的な授業レベルのものであることが大切。見出しの下に細かく書いてあって分かりやすい。
- ⑥計画… 表に、手だてと実践の中に書かれている番号が書かれていて分かりやすい。
- ⑦抽出児… 一人の子を追っていくことが大切である。1つの授業だけでは、書けない。
- ⑧実践…
 - ・ P 5 「今後の追究活動へ自ら意思決定する姿がわかる」「主体的に根拠立てて見通しをもって考えている」⇒検証しようとしていることにのっとったことを述べている。客観的な考察になっている。
 - ・ プロット作りも分かりやすい。
 - ・ 授業記録と学習記録に線を引き、対応させながら書いていて分かりやすい。(矢印を引くと、見づらくなる)
 - ・ 写真が多すぎたり、大きすぎたりするのはよくない。
 - ・ 子供の名前が分かってしまうのもよくない。
 - ・ 立てた論があっていることを語る。(1文が3行以上だと読みづらい。主語と述語をはっきりさせる)
- ⑨研究の成果と課題… P 1 2 「自分事として問題を捉え、主体的に問題を解決しようとすることができた」「自分たちの考え方で勝敗が決まるというゲーム設定は価値判断や意思決定をすることに対しても意欲的になり、主体的に考えられるといえるだろう」⇒事実がある上で述べているので、説得力がある。

6 これだけは守って欲しいこと

- ・ 文字数は必ず守る。(MS P 明朝=勝手に文字数を変えてしまうこともある)
- ・ 資料は規定内の枠からはみ出さない。
- ・ ぼやけた写真は避ける。

第3回目の読書会は、岡崎市算数・数学部指導員の畔柳先生と永井先生が「教育論文の書き方」をご指導してくださいました。論文の準備を早めに行うことができると、今年も、例年よりも早い時期に行いました。学期末のお忙しい中ではありましたが、40名を超える先生方が参加してくださり、意識の高さを感じられました。参加された多くの先生が、熱心に話に耳を傾けていました。

学んだことをいかし、計画を立てて実践を行い、論文にまとめていただけたらと思います。